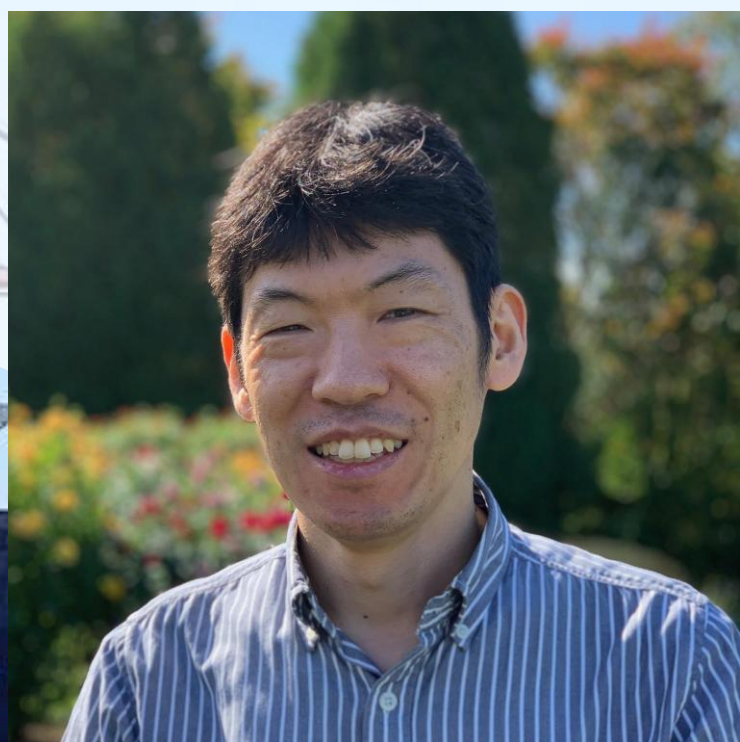


2026年度 ◆新任教員紹介◆

今年度 新たに着任した教員をご紹介します！

▶先生の専門は…

金属イオンに様々な分子が結合した複合体を扱う「錯体化学」と、光を吸収した物質の挙動を調べる「光化学」が専門です。錯体の形状・電子状態は分子レベルで設計できるため、様々な材料と連動して興味深い光機能・光反応を創り出すことができます。この特徴を活かして、近年は持続利用可能な太陽光と海洋バイオマスからグリーン水素と有用化成品を同時に合成する新しい光触媒の開発に注力しています！



学術研究院

海洋資源エネルギー学部門

教授 小林 厚志

▶こんな授業を担当します

次年度より海洋資源環境学部1年生向け「化学I」、2年生向け「化学概論」や化学実験等を担当し、海洋資源の利活用における化学の重要性を概説する予定です。大学院では「海洋エネルギー資源化学」等を担当し、最先端研究の理解と実践力の深化につなげていきます。

▶先生を知るためのキーワード#

- ・金属錯体
- ・配位高分子
- ・発光性材料
- ・光増感色素
- ・ナノ粒子
- ・光触媒
- ・人工光合成
- ・太陽電池
- ・水素エネルギー
- ・バイオマス光改質
- ・環境浄化
- ・化学センサー

経歴：筑波大学にて学士・修士(理学)、九州大学にて博士(理学)取得後、2007年より北海道大学 助教。准教授昇任やJSTさきがけ研究員を経て、2026年4月より現職。

業績：混合原子価錯体(JACS、2006)や発光性配位高分子(Chem Eur J、2018)、色素増感光触媒(ACIE、2023)に関する論文140報超。2016年日本化学会北海道支部研究奨励賞、2017年北海道大学研究総長賞、2016、23年北大エクセレントティーチャーズ選出。

